

ぼくらの夢・三原の未来

～夢ムービーで三原のみんなに希望を～

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 探究力 論理的思考力・表現力 知識・技能

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

三原は、港や空港、在来線や新幹線、高速道路やバイパス等があり、交通の便がよい町である。また、やっさ祭りや神明市などの伝統的な祭りも盛んであり、三原やっさタコや神明鶏等、地形や気候を生かした特産物も有名である。多様な魅力があるにも関わらず、全国的な人口減少、少子化が影響し三原市の人口も年々減り、本校の児童数も少しずつ減少している。このような状況の中、三原市では今年度、子育て支援の一環として、仕事体験提供事業を行っており、地域の未来を担う児童に職業を体験したり、社会の仕組みを学んだりする機会を提供している。

本単元では、自分の夢や地域の未来について考えるを通して、地域のよさや地域の方々の思いに気付かせたい。また、夢や理想を叶えるためには、どのような工夫や努力が必要なのかを問う中で、目標をもち、自分にできる地域貢献の在り方を考え、実践できる児童に育てほしい。

児童の実態

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間で、主体的に課題を設定し、タコ漁の現状や三原城の歴史を学習する中で地域への愛着を深めた。今年度1学期も、児童の興味・関心を中心に課題を設定し、三原小のミステリーを探究した。歴代の教員や地域の卒業生等にインタビュー調査等を行う中で、主体性や探究力を育み、三原小を大事にしてきた方々の思いに触れることができた。

7月のアンケート調査では、「協働性」に関する質問は全体的に肯定的な回答の割合が高かったが、他者意識を持つことができていないかを問う質問に対する強い肯定的回答は62.1%と他の項目と比較して低い数値であった。また、「学び合い」に関して、友達の意見と比較したり関連付けたりして話し合うことができていないかを問う質問では、強い肯定的回答が36.4%であった。他者意識をもって話し合ったり、自他の意見を比較したり関連付けたりしながら、合意形成を図っていく学習活動の充実に課題があることが分かる。

学習の題材

本題材では、自分の夢と地域の未来をテーマとして学習に取り組んでいく。2学期の探究のスタートとして、市役所の子育て支援課の方から仕事体験提供事業や映像コーナーの話をしていただく。映像コーナーでどんな動画を上映するかを話し合う中で、自分の夢と地域の未来を重ね合わせ、仮の探究課題を「ぼくらの夢・三原の未来」と設定する。自分の夢を叶えるために必要な日々の努力や今後の進路を考えたり、三原の現状を調べたりする中で、人口減少や少子化に伴って市が行っている様々な対策や取組や思いに着目させる。三原のことを大切に思い、三原の未来を明るいものにするために、地域の大人が努力していること、未来を担う子供たちに期待を寄せ、温かく見守ってくださっていることに気づき、自分たちが地域のためにできることを話し合う中で、真の探究課題として副題に「夢ムービーで三原のみんなに希望（仮）を」を設定していく。このような課題解決の過程の中で、友達や地域の方々と協働しながら、目的や意図に応じて情報を収集して整理し、その要因や結果などを予測しながら論理的に考えたり、自分の夢や地域の未来に対する思いを豊かに表現したりする力を高めることができる題材と言える。

単元の目標

自分の夢や地域の未来について考えたりすることを通して、地域のよさや地域の方々の思い、願いを叶えるための工夫や努力の必要性を理解し、自分にできる工夫や努力、地域貢献の在り方について考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

(1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

三原市役所子育て支援課の方から事業の意図や、動画を上映する FUN スポットに隣接する児童館「ラフラブ」の職員の方から動画への願いを聞き自分たちの思いと重ね合わせることで、自分たちの夢と三原の未来がどのように関わっているのかを捉えられるようにする。

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

自分の夢と三原の未来を関連付けて考えられるよう、日常生活における自分たちの工夫や努力が地域にどのように影響し、未来へつながっていくのか、SDGs の視点から関わりを見つけたり、自分や地域の課題を解決するためにできることを考えさせたりすることで、自己の生き方を問い続ける足掛かりにさせる。

(2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「イースター島にはなぜ森林がないのか」「町の未来をえがこう」「町の幸福論」

「イースター島にはなぜ森林がないのか」からは、どんな要因がどんな結果をもたらしたのか、持続可能な社会がなぜ大切なのかについて読み取ることで、魅力的な町づくりについて調べた情報を関係付けて活用できるようにする。「町の未来をえがこう」「町の幸福論」では、実際に成功した町おこしの題材を読み取ることで、自分たちが調べている町づくりの説明文と資料を関連付けて自分の考えを表現することができるようにする。

○社会科…「子育て支援の願いを実現する政治」

社会科の学習において、全国の子育て支援にかかわる取組を確認する。その上で、三原市で行われている取組と比較し、三原市役所子育て支援課や児童館ラフラブのことを調べたり、子育て支援の取組を利用している方にインタビューをしたりし、三原市が行っている子育て支援の取組の意義を確認できるようにする。

(3) 学習ツールの活用

○ICT機器

本学級の児童は、ジャムボードを使って班で考えを出し合ったり、学習したことをスライドにまとめて発表したりする経験をしている。また、総合的な学習の時間では、毎時間スプレッドシートに振り返りを記入しており、ICT 機器の活用には慣れ親しんでいる。タイピングを含め、ICT 機器を活用する能力は育ちつつあるが、1学級あたりの児童数も多いため、1人ひとりの意見を可視化したり、考えを整理したり深めたりすることに重点を置いて ICT 機器を活用していきたい。本単元の ICT 機器の活用計画は次の通りである。

- ・課題の設定…既習事項を確認するため、画像やスライドを共有する。
- ・情報の収集…探究テーマに関する情報を収集するために、検索機能を活用する。収集した情報を共有する場面ではジャムボードを活用する。また、状況に応じてミートを活用して出前講座を行う。
- ・整理・分析…多くの情報を比較、焦点化、分類する場面で、個人の意見を深め、友達と意見を交流するためにジャムボードを活用する。
- ・まとめ・表現…動画のシナリオづくりや撮影において、カメラ、スライド、ドキュメントの機能等、児童が必要だと思う機能を選んで、表現に生かす。

○思考ツール

本学級の児童は、総合的な学習の時間、国語科、社会科、学活等の学習場面で思考ツールを活用している。思考ツールの目的や使い方を確認しながら活用することで、効果的に活用することができ始めているが、児童自ら思考ツールを選択して活用するまでには至っていない。思考スキルと思考ツールを照らし合わせながら習得し、掲示したり、教科横断的に活用したりしていくことで、主体的な活用につなげていきたい。

- ・意見を広げる場面…イメージマップ
- ・多面的に考えを広げる場面…フィッシュボーン
- ・成果物を評価する場面…PMI シート

3 単元の評価

(1) 内容のまとめりごとの評価規準

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準	
知識・技能	知識	社会を形成する様々な職業や行政の取組に関する知識を関連付けて構造化し、統合化された概念として理解している。	
	技能	探究の過程における ICT 機器や思考ツール等、課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。	
	探究的な学習のよさの理解	学習と生活のつながりを意識し、学習を振り返ることで、探究的な学習のよさを理解している。	
思考・判断・表現	「課題の設定」	探究力	自分や市の現状におけるよさや問題点から問いをもち、課題を設定している。
	「情報の収集」		本やインターネット等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを更新している。
	「整理・分析」	論理的思考力・表現力	目的に合う方法で筋道立てて思考し、情報の共通点や相違点を見つけ、情報から分かることや言えることを明らかにしている。 情報や事象を比較したり関連付けたりして、意見を主張する際に、理由や根拠を表現している。
	「まとめ・表現」		相手や目的に応じて、情報を精査し、方法や内容を工夫して効果的に表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。	
	主体性・協働性	主体性	自分で課題を決めて、目的や状況に合う方法を選択し、課題を解決しようとしている。
		協働性	目的を考えて友達と話し合い、役割を意識して行動したり、友達の意見を取り入れたりしながらよりよいものを目指して行動しようとしている。
	将来展望・社会参画	実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。	

(2) 単元の評価基準（本校で育成を図る資質・能力のルーブリック）

知識・技能および資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分で決めて行動する力	自分で課題を決め、自分の夢や三原市の取組に関わる情報を調べ、まとめる際に、目的に合う方法で課題を解決しようとしている。	自分で課題を決め、自分の夢や三原市の取組に関わる情報を調べ、まとめる際に、目的や状況に合う方法で積極的に課題を解決しようとしている。
	【協働性】 みんなと協力する力	目的を考えて友達と話し合い、役割を意識して行動しようとしている。	必要に応じて友達の意見を取り入れながら話し合い、よりよいものを目指して行動しようとしている。
思考・判断・表現	【探究力】 問い続ける力	自分の夢や三原市の取組に関わる問いを見つけ、答えを予想したり調べたりしている。	自分の夢や三原市の取組に関わる問いの答えを予想したり調べたりする中で情報を関連付け、問いを更新している。
	【論理的思考力・表現力】 筋道立てて考え、豊かに表現する力	意見の交流や発表の際に、筋道立てて思考し、自分の考えと根拠を表現している。	意見の交流や発表の際に、筋道立てて思考し、相手や目的を意識して方法や内容を工夫し、考えや根拠を表現している。
知識・技能		自分の夢や三原市の取組に関わる知識や ICT 機器や思考ツールを活用する技能を身に付けている。	身に付けた知識・技能を学習や生活の中で活用している。

4 指導計画 (全 30 時間 本時 15/30) ♥ : 三原だるまプラン「ショックー発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究	情報の収集 課題の設定 主 論 探 情報の収集 整理・分析 協 主 知	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の活動を振り返り、2学期にやってみたい活動を話し合う。(1) ○ 1学期の子どもルーブリックを修正する。(1) ○ 2学期の探究の方向性を話し合い、三原の現状を調べる。(2) ○ 三原市役所子育て支援課の方のお話を聞く。(2) ○ 自分の夢や未来の三原について話し合い、探究課題を設定する。(1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 仮の探究課題：ぼくらの夢・三原の未来 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三原市のためにできることを話し合い、活動計画を立てる。(1) ○ 自分の夢を叶えるために必要なことを調べる。(1) ○ 三原市の未来をよりよいものにするために必要なことを調べる。(2) ○ 収集した情報を整理し、自分のパートのアウトラインを作成し、互いに評価し合う (1) 【自己評価】【相互評価】 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップ ・ノート ・計画書 ・ノート ・PMI シート
真の探究課題の設定・探究	情報の収集 整理・分析 主 論 探 情報の収集 整理・分析 課題の設定 協 主 論 知 情報の収集 主 協 知 整理・分析 まとめ・表現 論 協 自	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに関係者へのインタビューを計画し、実行する。(2) <ul style="list-style-type: none"> ・映像コーナーに隣接する児童館ラフラフの方 ・動画作成にかかわってくださる三原テレビの方 ・自分たちを一番近くで見守ってくれている保護者の方 ・校長先生をはじめとする学校の先生方 ○ インタビューで分かったことを報告し合う。(1) ♥ 三原の主役は自分たち！地域の方々が私たちに期待してくれている！ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 真の探究課題：ぼくらの夢・三原の未来 ～夢ムービーで三原のみんなに希望（仮）を～ </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの思いと地域の方の思いを汲んだオープニングのメッセージ案を作成する。(1) ○ エンディングのメッセージ案を作成する。(1) 本時 ○ 自分のパートを修正し、完成させる。(2) ○ お互いの動画を評価し合い、修正する。(2) ○ 三原テレビの方にコメントをいただき、最終の修正をする。(2) <p style="text-align: center;">【外部評価】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質問シート ・行動観察 ・感想文 ・ジャムボード ・OPPA ・フィッシュボーン ・動画 ・PMI シート ・ノート
活動のまとめ・評価	まとめ・表現 協 主 論 理 将	<ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューに答えてくださった関係者の方へ動画を送る。(1) ○ 映像コーナーで完成した動画を鑑賞し、感想を話し合う。(1) ○ 校内外から届いた感想を読む。(1) 【外部評価】 ○ 活動について振り返る。(1) 【自己評価】 ○ ルーブリックを修正し、3学期の準備をする。(1) ○ 自己の成長について発表し合う。(1) 【相互評価】 ○ 3学期の活動について、興味関心を話し合う。(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート ・感想文 ・ノート ・OPPA

5 本時の学習

(1) 本時の目標

映像コーナーの目的、自分たちの思い、地域の方々の思いをふまえたエンディングのメッセージの下書きを作成することができる。

(2) 本校で育成を図る資質・能力の評価基準（主体性・協働性のルーブリック）★

B：キーワードを中心に自分の意見を持ち、伝えようとしている。（主体性）

A：互いの意見のよさを取り入れながら、メッセージ案をまとめようとしている。（協働性）

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ★評価（評価方法）
導入 5分	<p>1 夢ムービーの目的や関係者の思いを確認する。</p> <p>・子どもたちに夢を持ってもらいたい。 ・三原の未来に希望を持ちたい。 ・夢がかなうように努力していきたい。等</p>	<p>○ 映像コーナーの目的（企画した人）、自分たちの思い（動画をつくる人）、地域の方々の思い（動画を見る人）をベン図にまとめ、掲示しておく。</p> <p>○ 前時まで、オープニングとエンディングで伝えたいことをフィッシュボーンにキーワードで整理しておく。</p>
	<p>2 本時の問い、課題、探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">問い：エンディングにふさわしいメッセージは？</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">課題：見た人が未来に希望をもてるメッセージの下書きを作成しよう。</p> <p>・整理・分析 ・主体性・協働性</p>	
展開① 15分	<p>3 フィッシュボーンのキーワードに印をつける。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">付箋に書いたものの中から、絶対に必要だと思うキーワードに印をつけましょう。</p> <p>・お父さんとお母さんへの感謝の気持ちは、絶対に伝えたいな。 ・地域の方が嬉しくなるようなキーワードは何だろう。</p>	<p>○ フィッシュボーンはメッセージの要素ごとに付箋を色分けし、キーワードを記入しておく。</p> <p>・周囲への感謝…ピンク ・これからの努力や抱負…青 ・未来への願いや希望…黄色 ・その他…緑</p> <p>○ 必要に応じて付箋の追加や修正を行わせる。</p> <p>○ メッセージ案を1つにまとめるために、自他の意見を比較したり、関連付けたりすることを伝える。</p> <p>○ フィッシュボーンを貼り付けたジャムボードを班で共有しておき、お互いの意見を確認できるようにしておく。</p> <p>○ ジャムボードの1ページ目にグループのメッセージ案を記入し、全体共有できるようにしておく。</p> <p>・使いたいキーワードの付箋の整理 ・キーワードを文章化</p>
	<p>4 グループでメッセージ案を作成する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">個人で考えたキーワードとその根拠を友達と交流しながら、班でのメッセージ案をまとめていこう。</p> <p>・ピンクの付箋はみんなあるから感謝のメッセージは入れたほうがいいね。 ・自分たちが頑張っていくことを伝えたら地域の方は安心すると思うから、黄色の付箋も入れよう。 ・感謝は最後がいいと思うから、青→黄色→ピンクでどう？ ・みんなの意見を文章にするとどうなるかな。 ・長すぎるからもう少し短くしてみよう。</p>	

展開②	5 グループで作成したメッセージ案を検討する。	<p>○ 実行委員を中心に話し合いを進める。</p> <p>○ 意見を比較したり関連付けたりしながら発表できるように促す。</p> <p>★ 本校で育成を図る資質・能力の評価 (ジャムボード・行動観察)</p>
	<p>作成したメッセージ案を交流し、意見をまとめよう。</p> <p>C 私たちのグループは、青→黄色→ピンクの順番でメッセージを考えました。ピンクについては、みんなが選んでいたの、縮めの言葉として最後に入れたと思います。</p> <p>C 今の意見に付け加えて、ぼくたちのグループでは黄色を2枚にしています。自分たちの未来と三原の未来のことをどちらも入れたいからです。</p> <p>T ピンク (感謝) の位置についてはどう？</p> <p>C 大事なことは、最初より最後がいいと思います。</p> <p>C 三原の未来に希望をもってもらうために、僕たちが努力していることも入れたらいいと思います。</p> <p>C それは、感謝より前がいいと思います。</p> <p>C そうだね。</p> <p>T 一番伝えたい感謝を、最後にしたいんだね。</p> <p>C 見た人がほっとすると思う。</p>	
20分	6 学習したことをまとめ、振り返りを書く。	<p>○ スプレッドシートに振り返りを記入し、互いに振り返りを見合うことができるようにする。</p> <p>○ グループや全体で交流して、自分の考えをまとめることで、思考の整理をさせる。</p> <p>○ 振り返りの記述を踏まえて、次時の見通しをもてるようにする。</p>
まとめ	<p>今日は、○班の意見に納得しました。黄色→青→ピンクの順番で、最後に感謝をしっかり伝えたいと思います。その方が、見てくれた方への感謝が伝わると思うし、エンディングにふさわしいと思います。次の授業では、細かい内容を決めていきたいです。</p>	5分

(4) 板書計画

ぼくらの夢・三原の未来

10/25 整理・分析

協働性 A お互いのよさ→メッセージ案
主体性 B キーワード→自分の意見

① エンディングにふさわしいメッセージは？

② 見た人が未来に希望をもてるメッセージの下書きを作成しよう。

企画した人

★ 一番伝えたいことの位置を決めて構成を決めると考えやすい。

③ 本時での学び 参考になった意見